

## 原料費調整制度に基づく令和 3 年 4 月分のガス料金について

令和 3 年 3 月 10 日  
小千谷市ガス水道局

当市が供給している都市ガスの料金について、「原料費調整制度」に基づいて令和 3 年 4 月検針分に適用する調整単位料金の算定を行いました。

その結果、基準単位料金に対して -6.87 円(税込)の調整を行うこととなりました。なお、令和 3 年 3 月分料金と比較すると 4.08 円(税込)の調整となり、モデル世帯(ガス使用量 48m<sup>3</sup>/月)での1か月あたりの料金は、196 円(税込) 高くなり 5,764 円となります。

令和 3 年 4 月検針分に適用するガス料金につきましては、3 月分の検針のお知らせに表示してあらかじめご案内するほか、ガス水道局窓口ならびに市ホームページでもお知らせします。

## 令和 3 年 4 月分ガス料金

## ●一般契約料金表

区分	使用量	基本料金 (税込)	調整単位料金(税込)		
			基準単位料金	原料費調整額	計
料金表 A	0m <sup>3</sup> ~23m <sup>3</sup>	629.20 円	116.21 円	-6.87 円	109.34 円
料金表 B	24m <sup>3</sup> ~323m <sup>3</sup>	733.70 円	111.67 円		104.80 円
料金表 C	324m <sup>3</sup> ~	2,044.90 円	107.61 円		100.74 円

※基本料金は原料費調整の対象外のため、毎月変わりません。

## ●料金の算定方法(一般契約)

※基本料金と従量料金を合算後、1円未満を切り捨てます。

$$\text{ガス料金(税込)} = \text{基本料金(税込)} + \left( \frac{\text{調整単位料金(税込)}}{\text{使用量(m}^3\text{)}} \right) \times \text{使用量(m}^3\text{)}$$

(調整単位料金(税込) = 基準単位料金(税込) ± 原料費調整額(税込))

## 原料費調整額の算定について

基準平均原料価格 (毎月固定)	47,980 円/t	平成29年6月 ~ 平成29年8月の平均原料価格 (貿易統計値) 47,980 円 (10円未満四捨五入)
平均原料価格 (令和 3 年 4 月分)	40,070 円/t	令和元年 11 月 ~ 令和2年 1 月の平均原料価格 (貿易統計値) 40,070 円 (10円未満四捨五入)
調整単価(毎月固定)	0.079 円/m <sup>3</sup>	原料価格がトン当たり100円変動した場合の ガス料金価格変動額

※料金の急激な上昇を避けるため、平均原料価格が76,770円以上となった場合は、平均原料価格の上限を76,770円としてガス料金の調整を行います。(一方、調整の下限はありません。)

## ■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \nabla \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 40,070 \text{ 円/t} - 47,980 \text{ 円/t} = -7,910 \text{ 円/t} \\ &= -7,900 \text{ 円/t} \quad (\text{100円未満切捨て}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \nabla \text{原料費調整額} &= \text{調整単価} \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{ 円} \times (1 + \text{消費税率}) \\ &= 0.079 \text{ 円} \times -7,900 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times (1 + 0.10) \\ &= -6.87 \text{ 円} \end{aligned}$$

(小数点第3位以下切捨て、計算結果が負の場合は小数点第3位以下切上げ)

∴上記の計算の結果、令和 3 年 4 月分のガス料金では  
基準単位料金に対して、1m<sup>3</sup>当たり -6.87 円(税込)調整いたします。

※一般契約以外の料金につきましても、一般契約の料金と同様に

基準単位料金に対して 1m<sup>3</sup>当たり -6.87 円(税込)調整いたします。